

未来共創イノベーションネットワーク 設立趣意書

1. 設立趣旨と背景

20 世紀、工業社会化に成功した先進国は、豊かな物質社会と長寿社会を実現しましたが、その数は、地球市民 50 億人のうち、10 億人に過ぎませんでした。20 世紀終盤、イデオロギーの対立が終焉すると、多くの国が、市場経済化と工業化に向かい、新興工業国が次々に誕生し、世界は新たな成長の時代を迎えました。

しかし、21 世紀に入り、様々な課題が顕在化、深刻化しました。先進国は、豊かさと引き換えに、地球環境への過大な負荷、高齢化に伴う社会コストの増大、若者の雇用不足と格差の進行等の新たな課題に直面しています。他方、新興国と途上国では、インフラも生活必需品も公共サービスも絶対量が不足しており、それは資源争奪の懸念を抱かせています。

国連の予測によると、現在 70 億人の地球の人口は、21 世紀後半には、100 億人を越えます。環境や資源の制約のもとで、100 億人が豊かに暮らせる持続可能な地球社会を実現する、これは私たちに課せられた壮大なチャレンジであります。

明らかなことは、20 世紀の成功モデルを拡大するやり方では解決不可能だということです。脱成長や自然回帰のライフスタイルというのも、グローバルな視点で見れば賛同を得難く実行性に欠けます。革新的な技術による建設的な解決策、言い換えるとイノベーションによる解決が不可欠だと考えます。

イノベーションによる解決において、三菱総研は、次の 3 点が重要と考えています。

一つは、知識(特許、情報、データ、ビジネスモデル)によって、物的、人的リソースの利用効率を格段に高めることです。それを可能とする IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクス、ゲノミクス等の革新的技術が実用化を迎えようとしています。

第 2 にビジネスによる解決です。ビジネスとして成立すれば多くの企業が参入し、最速で最善の解決策を産み出すことが可能になります。同時に公共投資や公共サービスに要する財政負担を軽減することにもつながります。

第 3 は、オープンイノベーションです。われわれが直面している課題の多くは、複雑系です。産官学市民が連携し、世界の知を集め、最適に組み合わせることで解決することが必要です。日本には、優れた技術、人材、潤沢な資金がありますが、十分活用されているとは言えません。日本は、世界第 3 位の経済力を持ちながら、重要なリソースを集め、結合し、新たな価値を生む知的で社会的な仕組み(エコ・システム)を持つには至っていません。

かかる問題認識に立ち、三菱総合研究所は、オープンイノベーションのプラットフォームを設立することにいたしました。

当社は、1970 年の創業以来「独立」「学際」「未来志向」を基本理念に掲げ、輝く未来社会の構想と実現に取り組んでまいりました。「未来共創イノベーションネットワーク」の基本的考え方も、当社が長年継続してきた基本理念に基づくものです。

本趣旨に多くの方々、企業のご賛同とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2. 概要

(1) ミッション

- 未来共創のための“オープンイノベーションネットワーク”を設立する。
- 世界的に重要な社会課題に対して、イノベーションによる解決策をデザインし、これを民間のビジネスモデルのなかで実践する

(2) 社会課題

対象	<ul style="list-style-type: none">● 日本にとって重要かつ長期の社会課題 (ただし、日本だけに適用される、あるいは日本独自の文化、歴史、政治状況に深く根ざしているような課題は除く)● 現在、あるいは将来、世界の多くの国が直面する社会課題
主要分野	<ul style="list-style-type: none">● 医療・健康、環境、食糧、教育、防災、交通
解決手法	<ul style="list-style-type: none">● 知識による解決(例:情報、データ、ソフトウェア、AI・ロボット)● ビジネス化による解決

(3) 施策・計画

参加者	<ul style="list-style-type: none">● 企業、大学、官庁、NPO・NGO 等● 【事務局】 三菱総合研究所
機能	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーキング: 参加者間のコミュニケーション、連携を促進● 世界中からイノベーションのためのアイデアを募集● オリジナルアイデアの研究、改善、強化、実現● 事業評価(実現性、潜在力、スケーラビリティ)とビジネスマッチングの推進

(4) 当社の役割

提供価値	<ul style="list-style-type: none">● 社会課題の設定とリスト化● 事業価値の評価(市場・社会的価値の定量分析)● 最適な資源の組み合わせ、組織化(人的資源、企業、技術)● 社会実験の実行支援(場所、参加者の合意、資金の獲得)● 米国西海岸における“エコシステム”へのアクセス● 事業計画支援(大企業とのマッチング、各種育成プログラム提供者との連携)
活動内容	<ul style="list-style-type: none">● “未来共創イノベーションネットワーク”の設立・運営● “アドバイザリーボード”の設置・運営● 社会課題リストの維持・整備● “イノベーションによる解決”のデザイン・開発支援